



福岡県小郡市大板井1143-1  
 電話番号 0942-72-7221  
 FAX 0942-72-7222



発行人  
 こぐま福祉会「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



副理事長  
 いりえ かつなか  
 入江 和隆

いよいよ新しい年度がスタートしました。こぐま福祉会にはお役所や会社のような人事異動はありませんが、四月一日付で新人が十二人入りました。早く職場に慣れて利用者の皆様に喜んで頂けるようなスタッフに成長してくれることを期待しています。

さて、お隣の話で恐縮ですが、新館南側の隣接空き地には大きな太陽光発電のパネルが二組設置されました。売電を目指した新しい事業としてまもなく発電が開始され、順次パネルも増えていくものと思います。その工事の様子を見ていますと実に簡単で、南向きに傾斜した骨組みを建て、太陽光発電パネルを固定し、パネルから出ているコネクタールをつないでパワーコンディショナーという売電できる電圧と周波数に変換する装置につなぐだけでできあがりです。電子力発電所建設や水力発電のためのダム工事などの大がかりなプラント工事もなく、場所さえあれば簡単に設置できる発電所として、また太陽が降り注ぐ限り枯渇しないエネルギーとしてこれからの時代には

間違いなく大切な仕組みになるものだと思います。現在は「半導体」という素材を用いています。この数年普及してきた照明機器（LED）に使われている発光素子と原理は同じです。LEDは電気を使って光を発生させていますが、逆に光を当てると電気を発生するのが太陽光発電素子です。この技術は世界中のメーカーや研究者が大変な労力と経費をかけて作り上げてきたのですが、ご承知のように自然界は太古から同じ太陽光を利用する仕組み「光合成」を当たり前のように利用しています。この光合成のメカニズムは実は大変複雑なのですが、草木の葉一枚一枚が光を取り込み生命体の維持をはかっています。私たち動物はその過程でできる酸素とデンプン質を取り込んで生きていますから「光合成」はなくてはならないものです。

東日本大震災から二年が経過しましたが、人間が自然法則と逆行するように放射性物質を濃縮して稼働させてきた原子力発電所の事故による環境汚染の除染にはまだまだ時間がかかります。どこにでも生えている葉っぱの中で行われている光合成の仕組みに人間が生み出した自信作？の原子力発電技術は遠く及ばないのではないのでしょうか。近年「スベシヤルペア（2量体）」という特別なクロロフィルが光合成の光利用に活躍しているものと分かってきました。その詳細はこれから解明されることになりませんが、多くの研究者が努力

を続けており、光合成の仕組みの一部が明らかになれば現在の半導体太陽光パネルはさらに環境に優しくかつシンプルで安全な「夢の発電パネル」に発展するのではないかと期待される場所です。

少し難しい話しをしましたが、光の利用と同じように生命の仕組みに科学技術が追いつくのは永遠にできないのではないかと感じます。人間が快適に生活できるサポート技術は進んできましたが、自然のすばらしさ、生命のすばらしさと力強さにはとてもかないません。植物も動物もそして私たち人間もその生命の力強さを持つているのです。

様々な障害と向き合う私たちですが、元々持っている能力は何らかの障害があっても部分的に引き出せない事はあっても生命体として組み込まれている皆さんの優れた機能が残っています。何かが「できない」のではなく、したことがないためにまだ簡単にはできないだけ、「できるためのサポート」があれば「できるようになる」と信じる事が可能性を広げる一番の方法だと思います。どこからあきらめてしまったらその場所から先には進めません。こぐま福祉会がすべての利用者の皆様にできるだけ充実したサポートを継続できるように、新年度もスタッフ全員で取り組んで参りますので皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





**\*一歩一歩\***  
 三月十九日(火)、「ゆう」の遠足で城山公園へ行きました。  
 お天気にも恵まれ、菜の花が咲く春の河川敷を通りながら、一時間半から二時間半かけて、それぞれのペースで一歩一歩、がんばって歩きました。ゴールした時のみんなの姿は本当に強たくたくましく、キラキラしていました。

(保育士 伊藤)



**就学おめでとう!!**

三月二十七日(水)、やわらかい雨が満開の桜を濡らす中、「こぐま学園」・「ゆう」の就学お祝い会が行われました。ビシッとときまつた服を着て、保護者の方と一緒に最後の登園、いつもと違う雰囲気を感じ、子ども達は少しどきどきした表情でした。いよいよ会が始まり、大きな手拍子の中、就学児さんが入場。一人ひとり名前を呼ばれ、ステージ上で療育証書を受け取るその姿は、普段にも増してたくましく見えました。保護者の方のスピーチや、小さい頃からの写真を集めたスライドショーを見ながら、今までの事や成長をみんな振り返り、心も身体も大きくなった子ども達をみんなで送り出す大切な雰囲気のお祝い会になりました。

(保育士 梅木)



**小郡ロードレースに参加しました!**

三月二十四日(日)、小郡運動公園をスタートとする「小郡ロードレース」に今年も参加してきました。参加メンバーはスタッフやこぐま学園を利用されている子ども達、ご家族でそれぞれ一・五キロ、十キロ、ハーフの種目に分かれて走りました。今回は天気も良く、桜満開の中で気持ちよく走る事が出来て、ゲストランナーの有森裕子さんの熱い応援もあり、参加者全員見事完走することができました。

(マラソン部 木下)



**日中一時支援事業から**

平成二十五年度も、日中一時支援事業を継続する事となりました。すでに当園との契約がお済みで、今年度も継続して日中一時ご利用希望の方は、各市町村発行の受給者証の有効期限に関わらず、平成二十五年度の契約更新の手続きをお願い致します。また、新規ご利用希望の方につきましても、契約が必要となります。よろしくお願いたします。

(日中一時支援担当 北岡)

**受付からのお願い**

受給者証の取得、変更等により確認をいたしますので、窓口にて提出下さいますようお願い致します。なお、保険証に関しましては、月に一回の提出が義務付けられています。(受付 赤司)

**復帰のお知らせ**

出産・育児休暇を終え、三月五日より復帰しました。  
 松本加奈  
 保育士

**退職者紹介**

伊藤裕子  
 山村有希  
 山口直美  
 山口珠  
 岩村真木子  
 高山紀子  
 柴田れい奈  
 福田理絵  
 野口裕子  
 田中武彦

**行事予定**

二日(火) 始園式

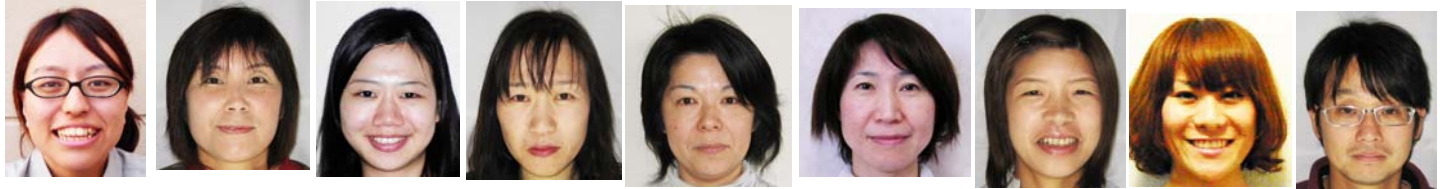
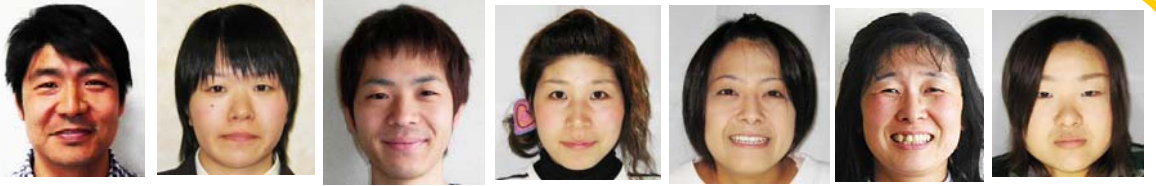






# 集まれ!!!

## 児童支援部



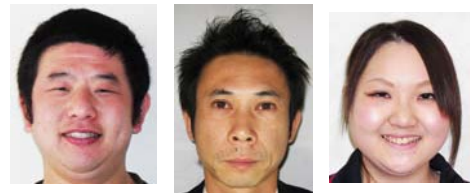
## 運転手



## A-Brace



## Hart Walker Japan



## 障害者支援部



新人 (14名)

1日~

心理非常勤 1名

相談支援専門員 1名 (入部先生)

履歴書写真





# こぐまスタッフ♪

こぐまのスタッフをご紹介します。  
今年度もよろしくお願ひ致します！



## 医療支援部



## 総務部



## 地域支援部



## 尾久保研修所

